

<p>平成 20 年度（1 年）</p> <p>個別の教育支援計画から指導実践へつなぐための工夫 —個別の指導計画の作成・活用及び指導実践における記録の工夫を通して—</p>	<p>肢体不自由・病弱教育研究室</p> <p>上 原 伸 之</p>
<p>要約</p> <p>個別の教育支援計画から指導実践までの流れを確立する事で、児童の変容につながるであろうという仮説を立て本研究に取り組んだ。まず、個別の教育支援計画と個別の指導計画について、基本的な考え方を整理し「活用」の視点から様式等の改善を図る。また、指導方法等の反省・改善ができる指導記録表の作成を行った。これらを通して、両計画の関連性を高め、個別の教育支援計画から指導実践までの一連の流れを確立することができた。</p>	